



校長室だより

一步一步

NO 2

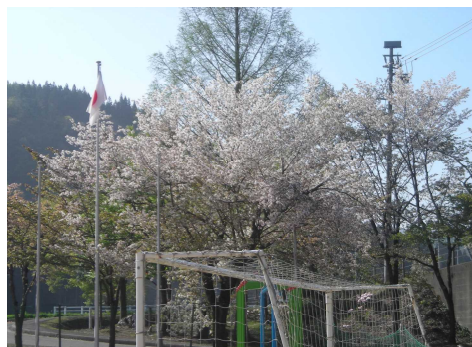
平成29年5月9日



4月の自転車教室、授業参観、総会ありがとうございました。4月の子ども達はいかがでしたでしょうか。とてもがんばっていたようです。緊張し、慌ただしかった4月の疲れも、5月の連休でリフレッシュできたでしょうか。これからまた、勉強に遊びに一所懸命にがんばってほしいと思います。

桜によせて

さて、白峰小学校の桜も連休中に満開を迎えたようです。桜が咲くことについて、このような話を松井教育長から聞きました。桜は南の方から咲き始め、北の方に桜前線が上がってきます。しかし、今年が一番最初に開花宣言が出されたのは東京でした。ではなぜ南の九州ではなく東京だったのでしょうか。桜が開花に至るまでに秘密があるそうです。それは、桜が開花の準備に入るのは秋の終わり頃からで、3月の開花の前に一度寒い時を体験したのち、暖かい日々の中で開花するそうです。つまり、一度寒いつらい日を経ないと暖かくなったからといって咲くわけではないということです。(今年は南の方は暖かい日が多かったからですね) もう一つ開花にまつわる秘密があります。それは、3月に入ってからの積算気温が、あるところに達してはじめて咲くということがあるそうです。



桜の開花の二つの秘密！？を見てみますと、子どものよりよい成長にもあてはまるのではないのでしょうか。

まず一つ目の「寒さの厳しい時をへて暖かい春に咲く」ですが、人間もやはり厳しくつらい経験をした人は、やさしく強くなるといいます。そして、厳しさやつらさだけでは心がねじまがりやすくなり、その中に頑張ったことに対する「認め」「褒め」があると強くたくましく育っていくようです。(裏面にそのことに関する新聞記事があります)

二つ目の「積算気温がある程度に達したら咲く」ですが、成長の中で、学習や運動に励んでいます。やったらすぐに結果がでることもありますが、なかなか結果が出ないこともあります。しかし、努力を続けているとある日突然パッと出来ることがあります。努力がある程度貯まらないと出来ないということではないのでしょうか。成長は一直線ではなく、階段のようでもあるということですね。

学校でも家庭でも、子ども達の豊かな成長や将来に向けてのよい土台作りを願う気持ちは同じです。生き抜く力、自立し自律する子を目指して、厳しくも暖かい支援を行って行きたいと思います。